

# FUJITSU Software NetCOBOL

## ライセンス : Linux (32bit)

2021年7月20日時点

Linux については、購入製品が開発・運用環境製品か運用環境製品かによって、ライセンスの考え方、購入方法が異なります。

1. 開発・運用環境製品 .....	2
1.1 開発・運用環境製品を新規に購入する場合 .....	2
2. 運用環境製品 .....	5
2.1 運用環境製品を新規に購入する場合 .....	5
3. 注意事項 .....	7
3.1 旧バージョン製品をご使用の場合 .....	7
3.2 ライセンス .....	7
3.3 クラスタシステムにおける製品のライセンス .....	8

# 1. 開発・運用環境製品

## 1.1 開発・運用環境製品を新規に購入する場合

### ライセンス

開発・運用環境製品の購入の考え方を以下に示します。

- メディアパックは、CD-ROM 媒体だけの提供です。  
メディアパックには、使用権は添付されていないので、別途プロセッサライセンスを購入ください。製品の導入にあたり、1 本以上のメディアパックが必要です。
- プロセッサライセンスは、本製品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下のとおりに必要となるライセンスです。
  - シングルコアプロセッサの場合：1 プロセッサあたり 1 本の購入が必要です。
  - マルチコアプロセッサの場合：コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。**(注)**

**注)** CPU 数、コア数などにより、プロセッサライセンスの数が異なりますので、必要ライセンス数については営業へご相談ください。

物理サーバーや仮想サーバー、オンプレミスやクラウドサービスなど、それぞれの利用形態における必要なライセンス数の算出方法については、「[必要なライセンス数の算出方法](#)」を参照してください。

### クラスタシステムにおける開発・運用環境製品のライセンス

Linux (32bit)の開発・運用環境製品は、クラスタ構成されたシステムで運用できます。

[クラスタシステムにおける製品のライセンス](#)

## 開発方法

Linux (32bit)では、以下の開発方法があります。

- Linux(32bit)環境で開発/運用する方法
- Windows(32bit)環境を利用して開発し、Linux(32bit)環境で運用する方法

### Linux(32bit)環境で開発/運用する方法

製品名	用途
NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ	COBOL コンパイラ、ビルダなど COBOL アプリケーションを作成できる開発環境
NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ	きめ細やかな帳票印刷、画面操作、Web 業務など本格的なビジネス基幹アプリケーション開発環境(注)
NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ	大規模基幹システム向けに、保守支援( <a href="#">SIMPLIA</a> )、高性能データソー ト・マージ( <a href="#">PowerSORT</a> を組み込み)、帳票出力、 <a href="#">Interstage Busine ss Application Server 連携</a> が利用可能な総合開発環境

**注)** 画面帳票設計ツールが含まれていないので、Windows 配下で画面帳票設計ツール(FORM)を別途購入する必要があります。

### Windows(32bit)環境を利用して開発し、Linux(32bit)環境で運用する方法

Windows(32bit) 開発環境で提供している分散開発機能 (リモートビルド、リモートデバッグ機能など) を利用して、Windows(32bit)環境で開発することができます。この場合、Windows(32bit)クライアントには、開発するマシンの台数分だけ、Windows(32bit) 開発環境製品が必要です。また、Linux(32bit)サーバには、Linux(32bit)サーバに搭載されているプロセッサ数に応じて、Linux(32bit) 開発環境製品のプロセッサライセンスが必要となります。

用途に合わせて、以下のいずれかの製品をお選びください。

開発環境	製品名
Windows (32bit)環境	<p>用途に合わせて、以下のいずれかの製品をお選びください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• NetCOBOL Base Edition 開発パッケージ (32bit)</li> <li>• NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ (32bit)</li> <li>• NetCOBOL Professional Edition 開発パッケージ (32bit)</li> <li>• NetCOBOL Enterprise Edition 開発パッケージ (32bit)</li> </ul>
Linux(32bit)環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>• NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ (32bit)</li> </ul>

## 2. 運用環境製品

### 2.1 運用環境製品を新規に購入する場合

#### ライセンス

運用環境製品の購入の考え方を以下に示します。

- メディアパックは、CD-ROM 媒体だけの提供です。  
メディアパックには、使用権は添付されていないので、別途プロセッサライセンスを購入ください。製品の導入にあたり、1 本以上のメディアパックが必要です。
- プロセッサライセンスは、本製品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下のとおりに必要となるライセンスです。
  - シングルコアプロセッサの場合：1 プロセッサあたり 1 本の購入が必要です。
  - マルチコアプロセッサの場合：コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。**(注)**

**注)** CPU 数、コア数などにより、プロセッサライセンスの数が異なりますので、必要ライセンス数については営業へご相談ください。

物理サーバーや仮想サーバー、オンプレミスやクラウドサービスなど、それぞれの利用形態における必要なライセンス数の算出方法については、「[必要なライセンス数の算出方法](#)」を参照してください。

#### クラスタシステムにおける運用環境製品のライセンス

Linux (32bit)の運用環境製品は、クラスタ構成されたシステムで運用できます。

[クラスタシステムにおける製品のライセンス](#)

## 製品種別

開発・運用環境製品で作成されたアプリケーションをクライアントで動作させるための運用環境製品を用意しています。使用された開発環境に合わせて、運用製品をご購入願います。

開発環境製品	サーバ運用環境製品
NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ	NetCOBOL Base Edition 運用パッケージ
NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ	NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ	NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

## 3. 注意事項

### 3.1 旧バージョン製品をご使用の場合

最新の NetCOBOL 製品は、旧バージョン製品の機能を包含しており、互換性を保っております。旧バージョン製品をご使用のお客様は、最新の NetCOBOL 製品へバージョンアップすることをお勧めします。

旧バージョン製品をご使用のお客様に新バージョンを安価でご購入頂くためにバージョンアップキット製品を用意しています。詳細は、[バージョンアップ製品](#)を参照してください。

#### 注意事項

旧バージョン製品をご使用の場合、以下のようなライセンスの変更点があります。変更点にご留意の上、[バージョンアップ製品](#)を購入してください。

- NetCOBOL V7.3 では、「メディア（CD-ROM）」と「ライセンス（使用权）」が分離された形態となっています。製品の購入にあたっては、最低 1 本のメディアパックを購入する必要があります。

### 3.2 ライセンス

Linux (32bit) NetCOBOL V7.3 は、「メディア（CD-ROM）」と「ライセンス（使用权）」が分離された形態となっています。NetCOBOL をインストールするサーバマシンに搭載されている CPU 数分のプロセッサライセンスをご購入ください。

製品名	説明
メディアパック	CD-ROM 媒体のみの製品です。 メディアパックには、ライセンス（使用权）は添付されておりませんので、別途プロセッサライセンスの購入が必要です。
プロセッサライセンス	動作するサーバマシンに搭載されている CPU 数分の購入が必要です。 1CPU 分のプロセッサライセンスが添付されています。

MeFt/Web クライアントのライセンスについて

- Standard Edition および Enterprise Edition 製品には、Windows クライアントにて動作する MeFt/Web クライアントが含まれています。
- MeFt/Web クライアントは、複数の Windows クライアントにインストールして使用することができます。

SIMPLIA/TF-LINDA(COBOL)クライアントのライセンスについて

- Enterprise Edition 製品には、SIMPLIA/TF-LINDA(COBOL)クライアントが含まれています。

- SIMPLIA/TF-LINDA(COBOL)クライアントは、1 台の Windows クライアントにインストールして使用することができます。
- SIMPLIA/TF-LINDA(COBOL)クライアントを複数の Windows クライアントにインストールして使用する場合、追加クライアントライセンスを別途購入する必要があります。

### 3.3 クラスシステムにおける製品のライセンス

相互待機形態(Active/Active)で運用する場合は、各サーバに製品を購入する必要があります。

ただし、運用待機形態(Active/Passive)で運用する場合は、通常運用時に待機ノードとなっているサーバには運用ノードで購入した製品を使用できます。待機系ノード分のプロセッサライセンスの購入は不要です。通常運用時に待機ノードとなっているサーバには、運用ノードで購入したプロセッサライセンスをご利用ください。